

火災警報器の購入前に…

チェックしておこう！

CHECK!

火災感知は煙？熱？

法律上は火災の感知方式に規定はありません。しかし一般的に、調理の煙が発生しやすい台所は熱感知式、寝室や階段等のその他箇所には煙式をお勧めいたします。



CHECK!

電池寿命は何年？

一般的に5年寿命と10年寿命の商品が市販されています。10年寿命の商品の方が割高ですが、1年当たりのコストは10年寿命のものの方が安価です。



CHECK!

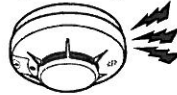
日本消防検定協会の鑑定は？

日本消防検定協会の鑑定合格品にのみNSマークが商品に表示されています。法律上に規定はありませんが、安全性のうえからもNSマーク商品のご購入をお勧めいたします。



CHECK!

警報音はブザー？音声？



音声タイプ(「火事です」など声で合図するもの)の方が一般的に割高です。しかし音声を耳にした屋外の通行人が通報してくれる期待もできる点で、安全性のうえではお勧めできます。

CHECK!

価格は？



電池寿命や機能によって異なりますが、概ね5,000円から7,000円程度。地域でまとめ買いをすると割安になるなどの動きもあるようなので「良いものを安く」購入する工夫も大切です。

CHECK!

保証期間は？

一般的に購入後1年間保証という商品が多いようですが、中には電池寿命期間(5年・10年)が保証期間という商品もあります。いざという時に壊れていては悔みきれませんので、保証期間もチェックポイントの1つです。

